

名槍日本号 (松口月城)

美酒元來吾所好

斗杯傾盡人驚倒

古謡一曲藝城中

吞取名槍日本號

美酒 元來 吾が 好む 所

解説 黒田家の重臣の母里太兵衛が名槍日本号を福島正則公から
呑み獲った事でも知られる逸話を詩に託した。

斗杯 傾け 尽くして 人 驚倒

語釈 ※名槍日本号＝福島正則に手柄があり、豊臣秀吉から戴いた日本一の名称を持つ槍。※斗杯＝一斗入りの杯。※驚倒＝倒は強意の助字。母里太兵衛の飲みっぷりに一座の者が驚いた。※古謡＝古い民謡。ここでは筑前今様、黒田節のこと。※芸城＝安芸の城。現在の広島城。

古謡 一曲 芸城の 中

通釈 美酒はもともと自分の好む所である。勧められるままに、

呑み 取る 名槍 日本号

大杯でなみなみと注いだ酒を飲み干せば、座中の豪傑どもも驚いた。古い歌に唄われているように、この安芸の城中で美酒呑み尽くして、約束の名槍を手に入れたのである。